

## 平成 29 年 9 月の解説（週間天気予報）

### 【9月の天候状況】

上旬は、台風第 15 号が日本の東海上を北上した後、高気圧と低気圧が交互に日本付近を通過したため、北日本から西日本では天気が数日の周期で変化しました。旬の中頃には、前線や湿った空気の影響で、西日本日本海側を中心に大雨となりました。北日本では大陸から移動してきた高気圧に覆われやすかったため晴れた日が多く、北日本日本海側では旬間日照時間がかなり多くなりました。また北日本から西日本では、北から冷たい空気が流れ込みやすく、旬平均気温は低くなりました。沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われて概ね晴れましたが、奄美地方では旬の中頃には湿った空気の影響で大雨となりました。太平洋高気圧の勢力が強く、暖かい空気に覆われたため、沖縄・奄美の旬平均気温はかなり高くなりました。

中旬は、旬の中頃は、台風第 18 号と前線の影響で全国的に天気が大きく崩れました。沖縄県宮古島では 13 日の日降水量が 450mm を超えるなど記録的な大雨となった所があり、沖縄・奄美や北・西日本を中心に大雨となり、河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生しました。旬を通じて西日本では前線や湿った空気の影響を受けやすく、旬間日照時間は西日本太平洋側でかなり少なく、西日本日本海側で少なくなりました。北日本日本海側でも、気圧の谷や寒気の影響で旬間日照時間が少なくなりました。沖縄・奄美では、旬平均気温が高くなりました。

下旬は、高気圧と低気圧が交互に日本付近を通過して、北日本から西日本では天気が数日の周期で変化しましたが、北・東日本と西日本日本海側では大陸から移動してきた高気圧に覆われやすく、旬間日照時間は多くなりました。沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われやすく、旬間日照時間は多くなりました。また太平洋高気圧の勢力が強く、暖かい空気に覆われたため、沖縄・奄美の旬平均気温はかなり高くなりました。

月平均気温は、沖縄・奄美でかなり高くなりましたが、西日本では低く、北・東日本では平年並でした。月降水量は、西日本日本海側と沖縄・奄美で多くなりましたが、東日本太平洋側では少なく、北日本、東日本日本海側と西日本太平洋側では平年並でした。月間日照時間は、北日本と東日本日本海側でかなり多く、東日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった一方、西日本では少なくなりました。

### 【9月の検証結果】

「降水の有無」の適中率（3～7 日目の平均）は、例年値<sup>(注)</sup>より 7 ポイント高い 74%で、すべての地方で例年を上回り、特に関東甲信、東海、近畿、中国の各地方では例年値よりも 10～13 ポイント高くなりました。最高気温の予報誤差（2～7 日目の平均）は、全国平均では例年値よりも 0.2 小さい 2.1 でした。各地方の予報誤差は、九州北部、九州南部、沖縄を除く各地方で例年を下回り、特に東北地方と北陸地方では例年値よりも 0.5～0.6 小さくなりました。最低気温の予報誤差（2～7 日目の平均）は、全国平均では例年値よりも 0.3 小さい 1.6 で、沖縄地方を除くすべての地方で例年を下回り、特に北陸地方と中国地方では例年値よりも 0.5～0.6 小さくなりました。

<sup>(注)</sup> 例年値は気象庁HP（予報精度検証）内「月毎の精度の例年値」を参照してください。

### 【11月の週間天気予報の利用にあたって】

11 月は、冬型の気圧配置となる頻度が次第に増え、北日本や日本海側の地方では雨またはみぞれや雪の日が多くなり、太平洋側の地方では晴れの日が多くなります。また冬型の気圧配置では冷たい北よりの風が吹くため、気温が下がりやすくなります。

週間天気予報では、雪の降りやすい期間や気温の下がる期間を予報しますので、雪への備えや健康管理などにご活用ください。